創業 89 年の老舗素材メーカー 山川産業株式会社の事例に見る コロナ禍の働き方に対応した PC 選定

扱いやすい「軽量薄型 PC」がもたらした効果

コロナ禍によって多くの企業が新しい働き方への対応が求められるようになった。さまざまな IT ツールの整備が必要となる中で、特に日々の業務遂行を支えるデバイスとして慎重に選定したいのが PC である。兵庫県尼崎市に本社を構え、けい砂の製造を中心に事業を展開する山川産業株式会社も、コロナ禍で生じた課題を業務 PC の入れ替えによって解消した企業の一社である。本ホワイトペーパーでは、昨今の企業が抱えるリスクや PC の刷新によって得られる効果を、同社の事例を交えながら解説する。

コロナ禍が業務にもたらした 3 つの影響

1. 事業継続への影響

2020 年から世界的に拡大した新型コロナウイルスは、企業活動や人々の生活に甚大な影響をもたらした。オフィスへの出社が制限され、思うように業務が進まない経験をした企業も多いだろう。また、昨今では業務を妨げる外的要因として、地震や台風、豪雨などの自然災害による大規模な被害も挙げられる。

こうした背景から、近年では多くの企業で「BCP（事業継続計画）」対策の重要性が再認識されつつある。つまり、緊急事態が発生した際に、いかに通常通りの業務を行えるかどうかが問われており、それができなければ、ビジネスの停滞にもつながりかねない。

直近のコロナ禍の例では、外出自粛の動きが高まり、「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が公示されたことで、企業によっては分散出社や時差出社を余儀なくされたケースも見受けられる。そうした状況では従業員間のコミュニケーションも取りにくく、業務に必要なファイルや情報を入手するのにも手間がかかるなど、生産性が低下した例も多い。しかし、これでは IT 環境を整備して円滑に業務を行っている競合他社に遅れを取ってしまう。

2. 従業員エンゲージメントへの影響

上述した円滑な業務体制が構築されていないことは、従業員にも大きな影響を与える。昨今では、従業員がいかにストレスなく業務をこなせるかという「従業員体験（Employee Experience）」を重視する企業も増えている。その背景にあるのが人材不足である。採用が容易ではなくなる中、人材流出を防ぎ、いかに既存の人材のパフォーマンスを発揮してもらえるかという考えが強くなっている。この従業員体験を高めるには、業務内容、福利厚生、人事配置、業務環境などさまざまなものを考慮しなければならない。

コロナ禍や自然災害発生の際、リモートワーク環境の業務体制が整っていないために、出社を強いられているケースもあるだろう。このような状態では、特にコロナの場合、感染者を増加させ事業継続に影響を及ぼすだけでなく、従業員の心理としても会社への不信感が募り、エンゲージメント（企業への主体的な貢献意欲）を低下させかねない。

エンゲージメントの低下により、会社の評判が低下してしまえば、最悪の場合、退職のリスクや従業員の採用への影響などさまざまなところで弊害が生じてしまう。

3. 人材定着・獲得への影響

従業員の離職は、昨今特に大きな問題である。少子高齢化により多くの業界で人材不足が深刻化しており、人材確保は簡単ではなくなった。首都圏の著名な企業であれば、大企業の福利厚生やブランドイメージによって深刻な影響を回避できるかもしれない。しかし国内人口の 3 割以上が密集する関東圏に比べ、地方では人口の流出が進んでおり、そのハンデは大きいだろう。

離職を防いで人材を定着させるためには、コロナ禍をきっかけに業務体制を見直し、働く環境を整えて従業員体験を高める必要がある。転職サービス「doda」の調査によると、20 代～ 30 代が転職の会社選定に「テレワーク・リモートワークを実施しているかどうかが応募の意向に影響する」と半数以上が回答したことが明らかになった。

もはや企業がテレワーク、リモートワークに対応することは人材確保のために必須と言っても過言ではない。従業員が快適に業務へ集中できるよう、企業はしかるべき環境の整備を進めていく必要がある。

© 2022 Fujitsu Limited

山川産業が直面したコロナ禍の業務課題

ここまでコロナ禍における企業のリスクや課題を解説したが、同様の課題を抱えていたのが兵庫県尼崎市に拠点を構える山川産業である。同社は、コロナ禍による環境の変化を踏まえ、より働きやすい環境整備の一環として業務 PC を刷新。ここからはその経緯を紹介していきたい。

山川産業が直面した課題

山川産業は、各種鋳物砂用けい砂及び粘土などの販売を目的として 1933 年に個人創業した会社を前身として 1944 年に設立。89 年の歴史をもつ企業である。けい砂の採掘加工、レジンコーテッドサンド、人工砂、砂のリサイクル事業などを手がける。工業製品や鋳型に用いられるけい砂を扱っており、主な取引先は工作機械や自動車のメーカーとなっている。関西圏を中心に全国で 8 つの営業所と 7 つの工場を展開する従業員数約 180 名の企業だ。

コロナの感染拡大は山川産業にも影響をもたらしていた。従業員の多くがオフィスでの業務が中心であった同社は、コロナが急速に国内で広がった際には、時差出勤や交互出勤といった対応で、可能な限りオフィスでの業務を続けていた。

リモートワークを検討していたが、そのためには自宅に手軽に持ち帰り安全に扱える PC が必要となるため、セキュリティ面も考慮すると出社が必要となってしまう。このように社外で業務を行うための環境が、当初は十分に整備されていなかったのだ。

もちろん社内の感染者が少なければ、時差出勤・交互出勤で感染リスクを抑えつつ、業務を支障なく継続できるだろう。しかし、「感染者や濃厚接触者が社内で増えてきた時期には『社員同士の接触を避け、在宅でも業務をスムーズに行えるようにしたい』との声が社内で上がるようになっていました」と同社の管理室 木原 智道氏は振り返る。

デスクトップ中心の PC 環境の刷新が急務

もし本社や各拠点でコロナ感染が広がれば、事業継続性の観点からもリスクは高まってしまう。そこで山川産業で特に対処を急がれたのが PC 環境の刷新である。先ほど触れた通り、オフィスで業務を完結させる従業員が多かった同社は、PC を持ち運ぶシーンが少なかったため、社内の PC のほとんどをデスクトップ PC が占めていた。

しかし、在宅勤務を実現するためには、当然ながら手軽に運んで持ち帰ることができるノート PC を導入する必要がある。合わせて、自宅あるいは外出先でも最低限のセキュリティを確保しなければならない。同社には、主に販売管理を担う基幹システムが存在しており、同システムへ必要な人だけがアクセスできる通信環境の整備も必要だった。

もっとも、コロナ以前も営業担当者など外出が多い従業員に対して、持ち運んで使用できるノート PC は整備されていた。しかし、「そのノート PC を利用するには、都度申請してもらい貸し出すルールとなっていました。端末の台数も1拠点あたり限りがあるため、複数の社員が気軽に使えるような体制はできていませんでした」と木原氏は語る。

山川産業では、鋳造用途を中心に産業用のけい砂の製造を行っている

 © 2022 Fujitsu Limited

モバイルノート PC の導入効果

在宅勤務を組み合わせた働き方が可能に

山川産業では喫緊の課題であった業務 PC を刷新するべく、2021 年に富士通の「LIFEBOOK U9 シリーズ」を導入するプロジェクトをスタート。2022 年 12 月現在では、尼崎の本社に勤務する社員全員の入れ替えが完了し、その他の拠点も、これまで使用していたデスクトップ PC との入れ替えを順次進めている。

山川産業が選んだ「LIFEBOOK U9 シリーズ」は超軽量薄型のモデルで、持ち運びのしやすさが大きな特徴だ。標準モデルの 13.3 型なら A4 以下のサイズで、ビジネスバッグに収納しやすい。コンパクトながらも衝撃・荷重には強く、移動時の“うっかり”にも対処できる。

同社では、これまで PC の入れ替えを6年ごとに行ってきたが、今回は急ぎ対応を求められたため、前回の導入から 4 年で入れ替えに踏み切った。すでに導入が完了している本社では在宅勤務が可能となっており、業務継続対策に効果を発揮している。

「濃厚接触者や感染者は自宅待機しなければなりませんが、特に症状がなければ自宅にいる間も業務を行いたいという声が上がっていました。その点、モバイルノート PC で作業できる環境は役立っており、業務への影響を以前より抑えられるようになりました。軽量薄型の LIFEBOOK U9 シリーズは、社内からは「使いやすい」との声があがっており、導入に満足してもらっていると感じます」（管理室 竹代 亮平氏）

営業担当者の働き方の柔軟性が向上

山川産業の約 180 名の従業員のうち、最も外出の機会が多いのは営業担当者だ。顧客や取引先との商談・打ち合わせだけでなく、社内でのコミュニケーションとして工場や他の営業所に赴いて、打ち合わせを行うことも多い。場所によっては移動に 1 時間以上かかるということも珍しくない。

その際に、持ち運びの容易な U9 シリーズが力を発揮する。技術的な内容であれば現場で話す必要があるが、議題によってはモバイルノート PC と Web 会議ツールを駆使して、リモートで完結させることも可能だ。

なお山川産業では、メール、スケジュールなどのグループウェア機能は「Microsoft 365」を利用しているため、インターネット環境とブラウザさえあれば場所を選ばずに手軽に情報にアクセスできる。モバイルノート PC との併用でさらにその利便性を高めることができるだろう。

PC の故障対応の利便性も向上

デスクトップ PC からモバイルノート PC にリプレースしたことで、同社では副次的な効果を得ている。同社では拠点が多く、これまで各拠点にある PC の修理・交換対応には、その都度拠点から本部まで PC を送付してもらう必要があった。デスクトップ PC では梱包にも手間がかかるが、モバイルノート PC ならば作業負担も少ない。情報システム部門にとってのトラブル時の対応が円滑に行えるようになったこともメリットだという。

FUJITSU intel

圧倒的な軽さで最高のモビリティを実現した
超軽量薄型モデル

Fujitsu Notebook
LIFEBOOK U9 シリーズ

intel vPRO i7

インテル® Core™ i7 搭載インテル® vPro®
高い負荷の作業も快適かつセキュリティを強化

山川産業で導入されている LIFEBOOK U9 シリーズ

 © 2022 Fujitsu Limited

選定のポイントとスムーズな導入のポイント

他の IT ツールと同様、PC を社内標準機として全社的に刷新する際には、さまざまな関係者からの意見があり、スムーズに意思決定ができない場合もある。また、もし導入したとしても従業員への対応などにも手間や時間を要してしまう可能性もあるだろう。デスクトップ PC からモバイルノート PC という大きな変化に対して山川産業はどのように選定や導入を進めたのか。ここでは同社が配慮した点や工夫点を紹介する。

1. コストパフォーマンスより従業員体験を優先

同社が、U9 シリーズを導入した理由の 1 つは、軽量薄型という特徴にも由来する総合的な使い勝手の良さである。

「比較検討した他のノート PC では重くて持ち運びに不便だったり、USB ポートの数も足りなかったりしたものもありました。一方で、U9 シリーズは軽量で、インターフェースも豊富にあるうえ、処理スピードも現在使用しているデスクトップ PC に比べて速かったです。導入前には、実際に社長に触ってもらい U9 シリーズの良さを実感してもらっていたので、導入に向けた内諾を得ることもできました」（木原氏）

同社はコストパフォーマンスよりも、あくまで「従業員体験」を優先し、持ち運びやすさや使いやすさを重視。大きかったのは、実際の使用感を社内で試してもらったことであろう。これによって理解を得ることができ、「多少重くともコストパフォーマンスを優先して、他のノート PC を選ぶという選択肢もあるのでは」などという反対意見が社内から出てくることはなかったという。

2. ダブルディスプレイで作業を効率化

従業員のほとんどはこれまでデスクトップ PC を使っていたことから、モバイルノート PC にリプレースすれば「画面が小さくなって使いにくい」という意見が出る懸念もある。しかし、同社の場合はこれまで特に不満の声は届いていないという。

「画面のサイズにも不満が出ることがありませんでした。デスクトップ PC ですでに使用していたディスプレイやキーボード、マウスをノート PC と接続しているので、不便になるどころから、ダブルディスプレイによって従来よりも利便性は向上しています」（竹代氏）

もちろん、ディスプレイやキーボード、マウスなど収集機器の接続が多いと着脱が煩わしくなるが、同社ではハブとなるドッキングステーションを合わせて導入することでこの問題を解消している。自席ではこのドッキングステーションによって外部接続インターフェースに困ることはない。また自席から離れて会議室や外部で U9 シリーズを使用する際でも、種類の豊富なインターフェースが搭載されていることから、困ることはほとんどないという。

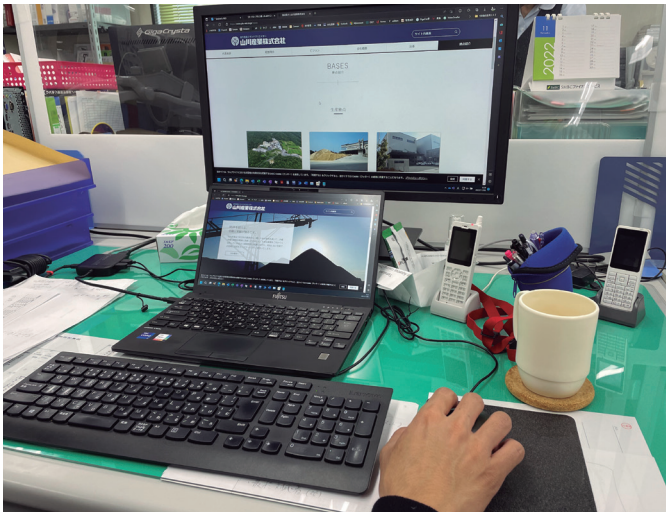
3. LTE 対応機種で通信の利便性も確保

同社では多くの従業員が基幹システムにアクセスして業務を行っているが、重要なシステムであるため、社外からのアクセスは制限されている。

自宅などの社外から接続するときは、許可されていない Wi-Fi やアクセスポイントからはアクセスできず、会社が貸与する USB 接続式の Wi-Fi ルーターなど指定のネットワークからのみアクセスを許可する方式を取っている。

もっとも、インターネット接続に関してモバイル Wi-Fi ルーターを利用する方法の場合、機器の管理の手間や接続の煩わしさが残り、また外出先で紛失するなどリスクも伴う。

その対策として同社では、今回導入した LIFEBOOK U9 シリーズは LTE モデルを導入している。営業担当者など外出機会の多い一部の社員には SIM カードを搭載して通信機能をもたせ、Wi-Fi 不要でインターネット通信環境を構築している。



事業所内では LIFEBOOK U9 シリーズにディスプレイ、マウス、キーボードを接続して利便性を確保

 © 2022 Fujitsu Limited

LIFEBOOK U9 シリーズの特徴

快適に扱える超軽量薄型モデル

ここまで山川産業における U9 シリーズの活用事例を解説した。すでに触れたように超軽量薄型である U9 シリーズは、13.3 型のサイズであるにもかかわらず約 738g という圧倒的な軽さを誇っており、ビジネスバッグに入れて持ち運んだり、社内で持ち運んだりする際にもストレスを与えない。

バッテリー駆動時間も、タッチパネル非対応で大容量バッテリーを採用した場合、最大で約 29.5 時間とパワフルだ。社内にて自席から離れて会議室でオンライン会議に使用したり、オフィス外での長時間作業にも活用したりすることもできる。

山川産業も採用していた LTE 対応は、Wi-Fi 環境に頼ることなく、SIM カードを内蔵させることで安定的な通信状態を実現できる。「パソコンを起動してから、ネットワークを選択してインターネットに接続する」という手間も省けて、よりスムーズに作業に移れる。通信サービスは NTT ドコモ /KDDI（au）/SoftBank に対応している。

インターフェースとして、2 箇所の USB Type-A、最大 2 箇所の USB Type-C（※モデルにより異なる）を搭載。また薄型ながら有線 LAN ポートを標準搭載している数少ない製品だ。

テレワーク環境でのリスクマネジメントを実現

超軽量薄型による持ち運びやすさの反面、テレワーク環境で心配になるのが故障リスクだ。持ち運んだりする分、PC を落としたりぶつけてしまうこともあるだろう。U9 シリーズは、落下、振動、開閉の繰り返しなど、さまざまな項目を独自の厳しい評価基準で製品評価試験を実施。液晶バックカバーには、頑丈なマグネウム合金を採用して液晶パネルを衝撃から保護しており、軽量ながらこだわりの堅牢設計を実現している（※ U9312X/J,U9312/J のみ対応）。

また、テレワーク環境では、オフィスに比べて悪意のある人間から画面を盗み見られたり、不正ログインされたりするリスクを伴う。U9 シリーズでは手のひら静脈や指紋、顔認証、IC カードなどを用いて ID やパスワード入力を代行するクライアントソフトウェア（AuthConductor Client Basic）を標準搭載しているため、セキュリティの強度を高めることが可能だ。

PC 選定も相談できる「富士通 WEB MART」

現在、富士通では法人向けの直販サイト「富士通 WEB MART」を展開している。富士通 WEB MART では、上記に紹介した U9 シリーズはもちろん、デスクトップ PC やタブレット、周辺機器・ソフトウェアの取り扱いもある。テレワーク環境に欠かせないヘッドセットや PC カバー・ケースも用意している。

購入前には、メールのほか、専門オペレーターによる電話での問い合わせも受け付けている。PC 関連の一般的なダイレクト販売サイトでは、「お客様自身で購入する製品を決め、電話では注文のみ」のやり取りとなることも多い。

しかし、富士通 WEB MART は顧客の抱えている悩みやニーズをヒアリングした上で、適切な PC を専門オペレーターからアドバイスできる。それを参考に PC を選定することも可能だ。ここが富士通 WEB MART の特長でもある。なお今回紹介した山川産業も富士通 WEB MART にて購入しており、木原氏も「直販で購入できるので仕様について細かな要求にも応えていただきました」とコメントしている。

購入後の特典としては、送料無料(※無料の会員登録が必要)で、最短 2 営業日でお届け。支払い方法はクレジットカード / 銀行振込 / 代引きから選べる。PC 購入時のサービスで「セットアップサービス」も選択可能だ。

コロナ禍への対応を含め、変化に強い業務体制を構築する上で PC は基本となる機器である。富士通 WEB MART などを活用しながら自社の PC 選定を進めてみてはいかがだろうか。

パソコン直販サイト 富士通 WEBMART[法人]
お得なキャンペーンも実施中

> 富士通 WEB MART はこちら

0120-959-242　https://direct.jp.fujitsu.com

お問い合わせ先

〔購入相談窓口〕0120-959-242

受付時間 9 時～ 18 時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）
富士通株式会社　〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
https://jp.fujitsu.com/platform/pc/

© 2022 Fujitsu Limited